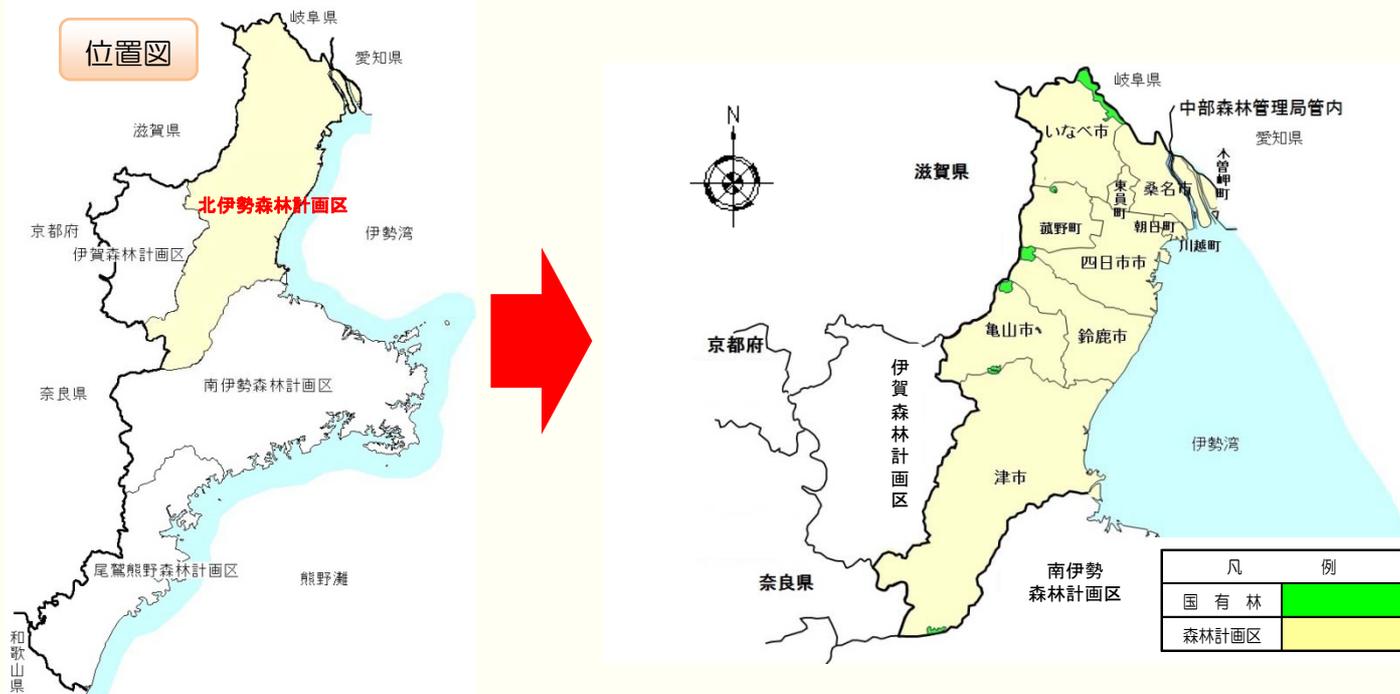


地域管理経営計画の概要

北伊勢森林計画区

1 森林計画区の概況

北伊勢森林計画区の国有林野2,555haは、三重県北部の養老山地及び鈴鹿山脈の脊梁地帯のほか、高見山地等に点在しています。



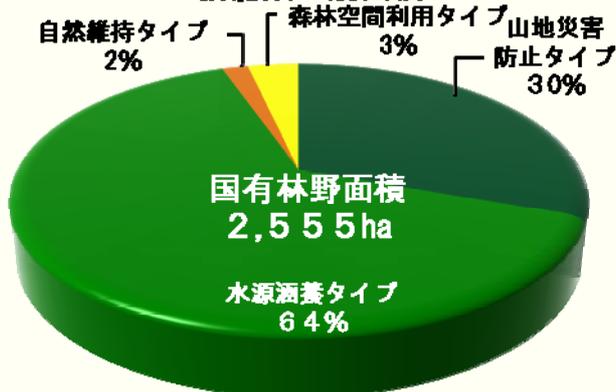
森林計画区内の森林面積に占める国有林野の割合は3%ですが、国有林面積の92%が水源かん養保安林等に指定され、多くは員弁川、鈴鹿川、安濃川、雲出川の水源地帯に位置し、水源涵養機能等の公益的機能の発揮が期待されています。

森林資源のうち人工林は、国有林野面積（林地）の72%を占め、全区域に広く分散しており、樹種別にはスギ、ヒノキが90%を占めています。また、天然林は28%（うち広葉樹91%）を占め、冠山国有林等に多く分布しており、一部は鈴鹿国定公園に指定され、ブナの天然林も見られます。

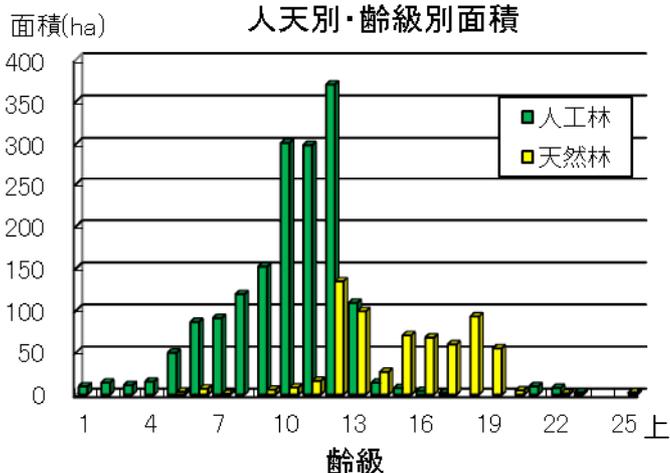
国有林・民有林別森林面積



機能類型別面積



人天別・齢級別面積



注・各データは平成27年現在。

・齢級とは、5年をひとくりにし、林齢1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、以下、3齢級、4齢級と続く。

2 主要事業

地球温暖化防止をはじめとする森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるため、519ha（53千㎡）の間伐を実施し、間伐材の有効利用に努めるとともに、83ha（19千㎡）の主伐を実施し、木材の計画的な供給に努めます。

種 類		新 計 画	現 計 画
伐採総量	主 伐	83ha (18,630m ³)	20ha (7,590m ³)
	間 伐	519ha (53,000m ³)	557ha (56,403m ³)
更新総量	人工造林	100.77ha	18.02ha
	天然更新	—	17.85ha
保育総量	下 刈	279.18ha	79.94ha
	除 伐	5.94ha	14.37ha
林道事業	開 設	2,300m	4,100m
	改 良	3,750m	7,000m
治山事業	保全施設	4箇所	4箇所
	保安林整備	37.81ha	24.93ha

注・主伐とは、利用期に達した樹木を伐採し収穫すること。間伐と異なり伐採した後に更新を行う。

・間伐とは、育てようとする樹木どうしの競争を軽減するため、混み具合に応じて一部の樹木を伐採すること。

・更新とは、伐採等により樹木がなくなった箇所において、植林を行うことや自然力の活用等により森林の世代が替わること。

・除伐とは、育てようとする樹木の生長を妨げる他の樹木を刈り払う作業。通常、育てようとする樹木の枝葉が互いに接する状態になるまでの間に行う。

3 森林・林業再生に向けた貢献に必要な事項

低コスト化を実現する施業モデルの展開と普及

いなべ市・桑名市の国有林を核として周辺の民有林で1団地を形成する森林において、地域条件に適合した効率的な作業システムとそれを可能とする路網配置や協調施業、協調出荷等、一体的管理経営を目指す取組を推進します。



4 国民参加の森林に関する事項

自主的な森林整備等へのフィールドの提供

国民参加の森林整備を推進するため、悟入谷国有林に「社会貢献の森」を設定し、地元住民が実施する森林整備等のフィールドとして国有林野を提供します。



設定の目的	名 称	国有林名（市町村）	面 積(ha)
社会貢献の森	グリーンボランティア 「森林づくり三重」	悟 入 谷（いなべ市）	7.09